

No.	カテゴリ	説明	対処内容
1	GUI	WinActor起動後に画面の解像度を変更すると、変更前の解像度までしかWinActorのウィンドウサイズを大きくできない。	WinActor起動後に画面の解像度を変更した際に、変更後の解像度に合わせてウィンドウサイズを変更できるよう修正しました。
2	テーブルスクレイピング	「23_ブラウザ関連¥05_表¥テーブルスクレイピング」を実行する際、スクレイピング対象のテーブルにrowspanが用いられていると、スクレイピング結果の列数が誤って出力されることがある。	「23_ブラウザ関連¥05_表¥テーブルスクレイピング」を実行する際、スクレイピング対象のテーブルにrowspanが用いられていても正しくスクレイピング結果を出力できるよう修正しました。
3	起動	マイドキュメント¥WinActorへのアクセス権がないと、起動時に「正しくインストールされていない可能性があります。再インストールをお試しください。」とエラーメッセージがでるが、再インストールしても解決しない。	アクセス権不足でWinActor起動失敗した場合に以下のメッセージを表示するよう修正しました。  WinActorの起動に必要なアクセス権の設定が不足しています。ファイルまたはフォルダのアクセス権の設定見直し後に再起動してください。
4	ライブラリ	EdgeブラウザのVer.100以降でIEモードのタブを対象にしてブラウザ操作ライブラリを実行すると、操作対象ページをアクティブに表示していない場合にエラーが発生する。	EdgeブラウザのVer.100以降でIEモードのタブを対象にしてブラウザ操作ライブラリを実行した際に、正しく操作対象ページを探してシナリオを実行できるよう修正しました。
5	ライブラリ	「23_ブラウザ関連¥01_起動&クローズ ¥ブラウザ起動」をWebDriverで実行時にエラーが発生すると、「ブラウザの起動に失敗しました」という警告ダイアログが表示されることがある。  この際、「ブラウザ起動」を例外処理ノードの中に配置していても、必ずダイアログが表示されてシナリオが一時停止してしまう。	「23_ブラウザ関連¥01_起動&クローズ ¥ブラウザ起動」の実行時のエラーを例外処理ノードの異常系で処理できるよう修正しました。
6	ブラウザ拡張機能	WinActorのブラウザ拡張機能を導入したブラウザを異なるプロファイルで複数起動すると、2つ目以降に起動したブラウザを対象としたブラウザ操作自動記録や拡張機能を利用したブラウザ操作の際に通信失敗のエラーが発生する。	WinActorのブラウザ拡張機能は異なるプロファイルで起動している複数ブラウザの操作に対応していません。  エラーメッセージの内容がわかりにくかったため、以下のメッセージを表示するよう修正しました。  「異なるプロファイルで起動している複数ブラウザの操作に対応していません。一旦すべてのブラウザを終了後に操作したいプロファイルのブラウザのみ再度起動してください。」

7	ブラウザ拡張機能	「23_ブラウザ関連¥01_起動&クローズ¥ブラウザクローズ」ライブラリをブラウザ拡張機能で実行する際、Chrome、Edge、Firefoxの三種類のブラウザでそれぞれ同一ページを表示していると、ブラウザクローズ時にタイムアウトエラーとなる。	「23_ブラウザ関連¥01_起動&クローズ¥ブラウザクローズ」ライブラリをブラウザ拡張機能で実行する際、異なるブラウザに対して連続実行してもタイムアウトエラーとならないよう修正しました。
8	ブラウザ拡張機能	「23_ブラウザ関連¥属性値の取得」ライブラリをブラウザ拡張機能で実行する際、存在しない属性名を指定すると"null"という文字列が取得される。	「23_ブラウザ関連¥属性値の取得」ライブラリをブラウザ拡張機能で実行する際、存在しない属性名を指定すると、マニュアルに記載の通り、空文字列が取得されるよう修正しました。 また、「23_ブラウザ関連¥プロパティ値の取得」ライブラリにも同様の問題がありましたので合わせて修正しています。
9	ライブラリ最新化	Ver.6.3.2に同梱している「MicrosoftEdge起動」ライブラリ(NTTAT_v6.3.2)を、Ver.7.4.0のライブラリ最新化機能でバージョンアップしようとした場合、バージョンアップされずにそのままとなる。	Ver.6.3.2に同梱している「MicrosoftEdge起動」ライブラリ(NTTAT_v6.3.2)を、Ver.7のライブラリ最新化機能でバージョンアップできるよう修正しました。 この対応に伴い、スクリプト内容には変更ありませんが、Ver.7.4.1に同梱している「MicrosoftEdge起動」ライブラリのバージョンを1.1.1に更新しています。
10	ライブラリ	「23_ブラウザ関連」配下のライブラリにてプロパティ画面でXPath選択する際、XPathの「選択」ボタンをクリックすると「不測のエラーが発生しました。」と表示されることがある。	「23_ブラウザ関連」配下のライブラリにてプロパティ画面でXPathの「選択」ボタンをクリックした際に不測のエラーが発生しないように修正しました。
11	ライブラリ	「23_ブラウザ関連¥03_クリック¥ダイアログクリック」を実行する際、クリック対象のダイアログのメッセージに改行が含まれていると、ダイアログボタンのクリック処理が実行されなくなる。	「23_ブラウザ関連¥03_クリック¥ダイアログクリック」を実行する際、クリック対象のダイアログのメッセージに改行が含まれている場合にもダイアログボタンのクリック処理を行えるよう修正しました。
12	Storyboard	NL版のStoryboard Ver.1.2.0にて[ヘルプ]-[ライセンスの登録]を選択し、「ライセンスのクリア」を実施しようとする「サーバへライセンスクリアを通知しますか?」と表示される。	Storyboardでは、オンラインライセンス登録ができないため、ライセンスクリアを実施した際はサーバ通知確認ダイアログを表示しないようにしました。
13	繰り返しノード、データ一覧タブ	オプション画面で「CSVファイル読み込み時に連続する改行をまとめる」をOFFにしていると、繰り返しノードのプロパティ画面で「データ数」を選択し、データファイルとしてCSVファイルを指定した場合、読み込んだ値の先頭にダブルクォーテーション(")が付くことがある。	オプション画面で「CSVファイル読み込み時に連続する改行をまとめる」をOFFにしている場合、繰り返しノードでデータファイルとしてCSVファイルを指定した際に読み込んだ値の先頭に不要なダブルクォーテーション(")が付かないよう修正しました。 また、データ一覧タブ画面でCSVファイルをインポートした場合にも同様の問題がありましたので合わせて修正しています。

14	画像マッチング、輪郭マッチング、OCRマッチング	画像マッチングノードのプロパティ画面にて、イメージ画像に246文字以上のウィンドウタイトルを持つウィンドウを指定してプロパティを更新する操作を4回繰り返すと、画像マッチングノードのプロパティ画面を開く際に不測のエラーが発生するようになる。	画像マッチングノードのプロパティ画面にて、イメージ画像に246文字以上のウィンドウタイトルを持つウィンドウを指定しても不測のエラーが発生しなくなるよう修正しました。 輪郭マッチングノード、OCRマッチングノードについても同様の問題がありましたので合わせて修正しています。 また、ウィンドウ識別ルール画面にてウィンドウタイトルやウィンドウクラス名、プロセス名の文字列を編集する際に255文字までしか入力できないようになっていましたので、この制限を撤廃しています。
15	文字列送信	「文字列送信」ノードにおける位置情報によるコントロール指定の際、対象コントロールが複数存在する場合にv6と異なる対象を選択してしまうことがある。	「文字列送信」ノードにおける位置情報によるコントロール指定の際、対象コントロールが複数存在する場合にv6と同じ対象を選択できるよう修正しました。
16	シナリオファイル呼び出し (WinActor 及び Storyboard)	シナリオファイル呼び出しノードを部分実行し、呼び出し先のシナリオでエラーによりシナリオ中断した場合、呼び出し元のシナリオに戻ってシナリオ実行ボタンを押下すると、シナリオ最初からではなく部分実行したシナリオファイル呼び出しノードが実行されてしまう。	シナリオファイル呼び出しノードの部分実行時に呼び出し先シナリオでエラーとなった場合にも、呼び出し元のシナリオに戻ってシナリオ実行した際に正しくシナリオ最初から実行されるよう修正しました。 また、WinActorの「01_WinActor制御¥02_シナリオ制御¥シナリオGoto」ライブラリの部分実行時、及び、Storyboardの「シナリオファイル呼び出し」シナリオポッドの部分実行時にも同様の問題がありましたので合わせて修正しています。
17	GUI	Ver.7.4.0にてダークテーマのアイコンデザインが変わったが、シナリオ実行ボタンと一時停止ボタンのみ以前のままのグレースケールとなっている。	シナリオ実行ボタンと一時停止ボタンについて、ダークテーマの際のアイコンを修正し、視認性を向上させました。
18	ブラウザ拡張機能	「23_ブラウザ関連¥値の設定」をブラウザ拡張機能で実行すると以下のエラーが発生する。  操作対象の要素は、要求された操作を受け付けないタグです。 Tag=INPUT(type='search')	「23_ブラウザ関連¥値の設定」をブラウザ拡張機能で実行する際、WebDriverで値を設定できる箇所(INPUTタグのtype)に対してエラーなく値を設定できるよう修正しました。
19	サブルーチンタブ	実行版ライセンスのサブルーチンタブ画面にて、サブルーチン参照ボタンをクリックするとサブルーチン参照ボタンが非活性状態になり2回目以降のクリックができない。	実行版ライセンスのサブルーチンタブ画面にて、サブルーチン選択中にサブルーチン参照ボタンが意図せず非活性状態にならないよう修正しました。 フル機能版ライセンスにて、シナリオ閲覧モードでシナリオを開いた場合にも同様の問題がありましたので、合わせて修正しています。

20	ブラウザ拡張機能	「23_ブラウザ関連¥01_起動&クローズ¥ブラウザ再起動」をブラウザ拡張機能で実行した際、プロパティ画面で指定したURLが開かずに"data:,"の初期ページが開かれたままとなることがある。	「23_ブラウザ関連¥01_起動&クローズ¥ブラウザ再起動」をブラウザ拡張機能で実行した際、プロパティ画面で指定したURLを正しく表示できるよう修正しました。
21	ライブラリ	Ver.7.4.0で「11_ウィンドウ関連¥ウィンドウ前面化」ライブラリを実行すると、対象ウィンドウが見つからない場合に「認識可能な数値が見つかりませんでした。」のエラーとなりシナリオ実行が中断する。	「11_ウィンドウ関連¥ウィンドウ前面化」ライブラリを実行する際、対象ウィンドウが見つからない場合にも、Ver.7.3.1以前と同様にエラーとならずにシナリオ実行を継続できるよう修正しました。
22	ブラウザ拡張機能	「23_ブラウザ関連¥ページ表示」ライブラリをブラウザ拡張機能で実行する際、ページロード時にダイアログが表示されるWebページを表示しようとする「ブラウザとの通信に失敗しました」のエラーが発生することがある。	「23_ブラウザ関連¥ページ表示」ライブラリをブラウザ拡張機能で実行する際、ページロード時にダイアログが表示されるWebページであってもエラーとならないよう修正しました。
23	画像マッチング	Ver.7.4.0より画像マッチング実行時に最もマッチ率の高かった領域情報がログ出力されるようになったが、このログメッセージ中に含まれる「ヒット率」が何を指すのかわかりにくい。	画像マッチング実行時に出力するログメッセージに含まれる「ヒット率」は、画像マッチングノードのプロパティ画面にある「マッチ率」と同じものです。 用語が統一できておりませんでしたので、ログメッセージに含まれる用語を「マッチ率」に修正しました。
24	ブラウザ拡張機能	Firefox Ver.102以降でブラウザ拡張機能を用いてブラウザ操作する際、「23_ブラウザ関連¥02_ウィンドウ&タブ¥任意のウィンドウへ移動」を実行するとエラーとなる。	Firefox Ver.102以降でブラウザ拡張機能を用いてブラウザ操作する際、「23_ブラウザ関連¥02_ウィンドウ&タブ¥任意のウィンドウへ移動」を実行時にエラーとならないよう修正しました。
25	ブラウザ拡張機能	ブラウザ拡張機能によるブラウザの操作において、フレームを選択し、選択した子フレーム中のHTMLが更新されると、以後、該当ページへの操作時にエラーとなる。	ブラウザ拡張機能によるブラウザの操作において、フレームを選択し、選択した子フレーム中のHTMLが更新されても、エラーとならず、操作できるよう修正しました。